URBANO アルバーノ
by SHARP

USBドライバ　インストールマニュアル

- 本製品の環境は以下のとおりです。
  USB 1.1以上に準拠しているUSB搭載のパソコンで、Microsoft® Windows® 2000 Professional/Windows® XP（32bit）/Windows Vista®（32bit）がプリインストールされているDOS/V互換機。
  （OSのアップグレードを行った環境では、ご使用いただけない場合があります。）
- 本製品は日本国外ではご利用になれません。（This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.）
- 本製品はURBANO以外の携帯電話機ではご使用できません。
- 本書内で使用されている表示画面は説明用に作成されたものです。
- 本書は、お客様がWindows®の基本操作に習熟していることを前提としています。パソコンの操作については、お使いのパソコンに付属されている取扱説明書をご覧ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書で記載している会社名、製品名などは各社の商標、および登録商標です。

特に本文中では、®マーク、™マークは明記しておりません。

発行元：シャープ株式会社　2008年9月第1版

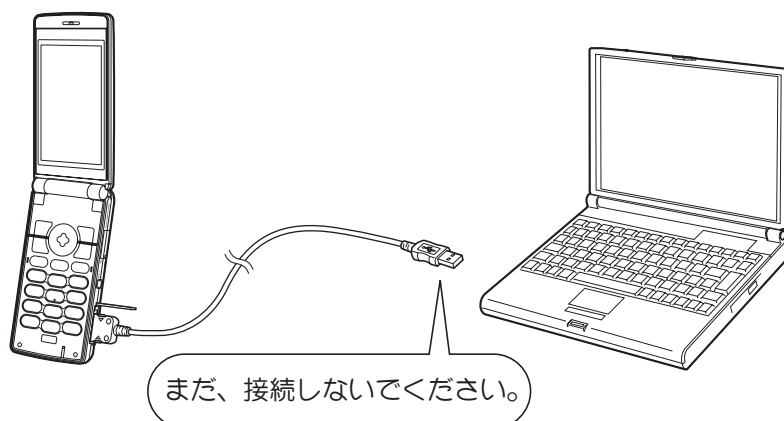
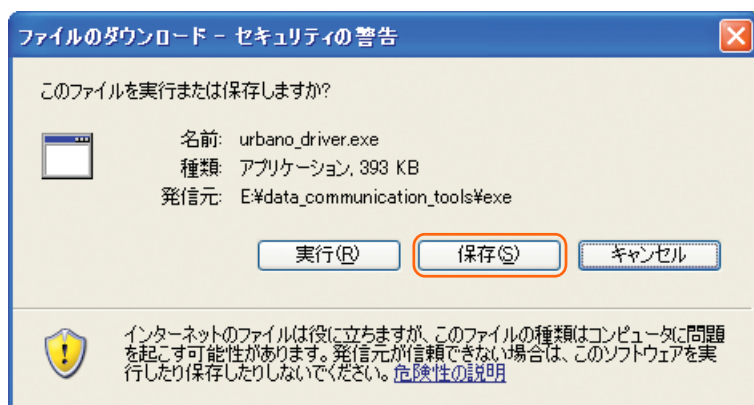
目次

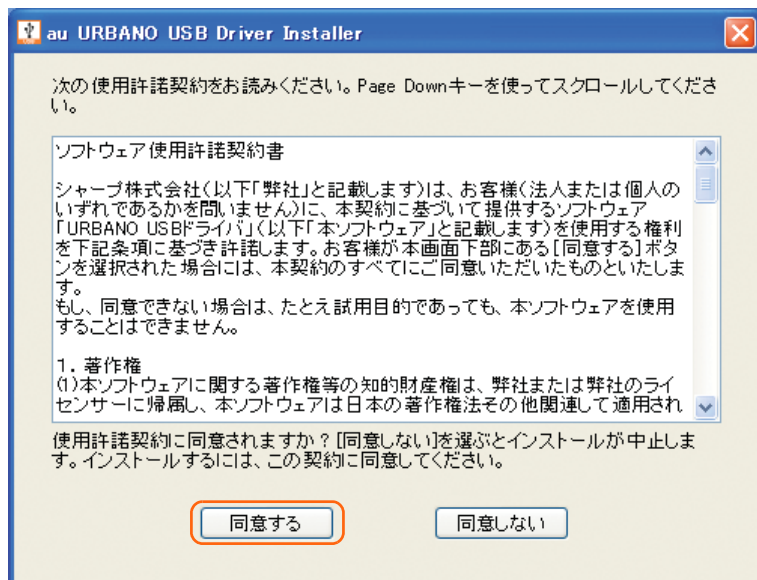
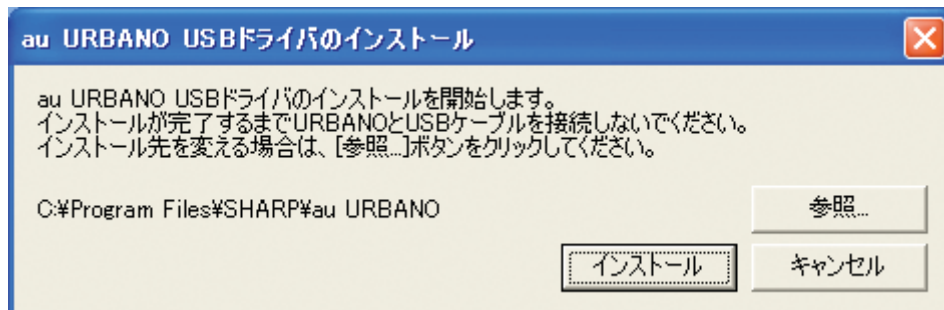
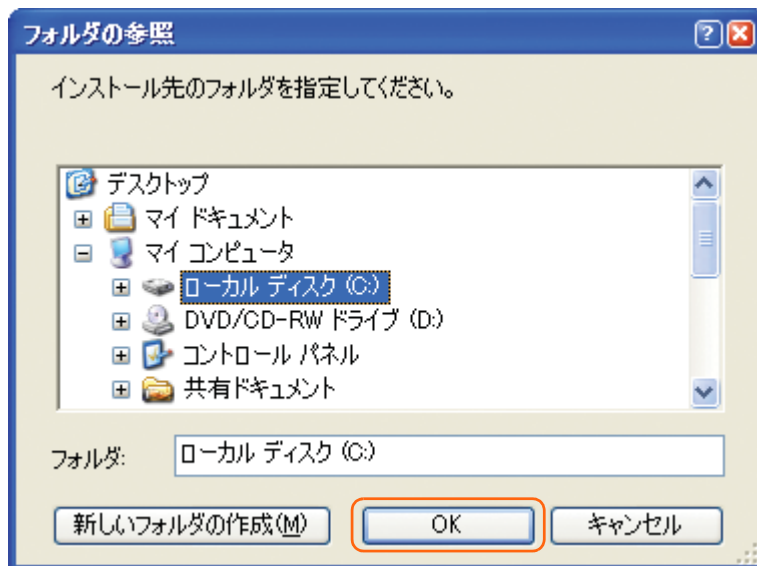
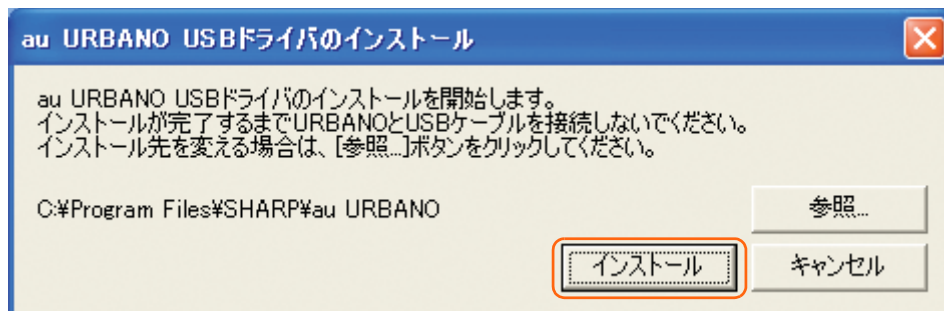
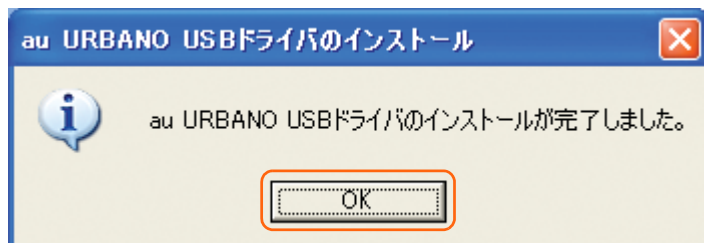
■USBドライバインストールの手順

※以降の画面はWindowsXPパソコンのもので、機種により異なる場合があります。本ページをご確認後、Windows2000パソコンの場合は7ページ、Windows Vistaパソコンの場合は10ページをご確認ください。

※ドライバのインストールは、管理者権限でコンピュータにログオンしている必要があります。

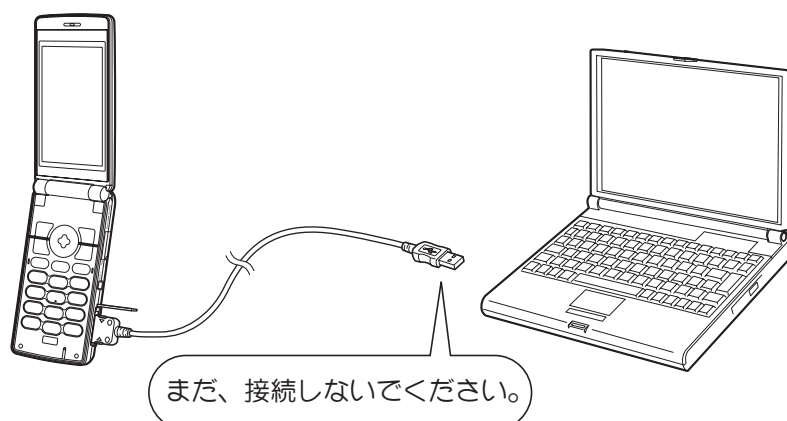
※Windowsで起動中のアプリケーションを終了してください。

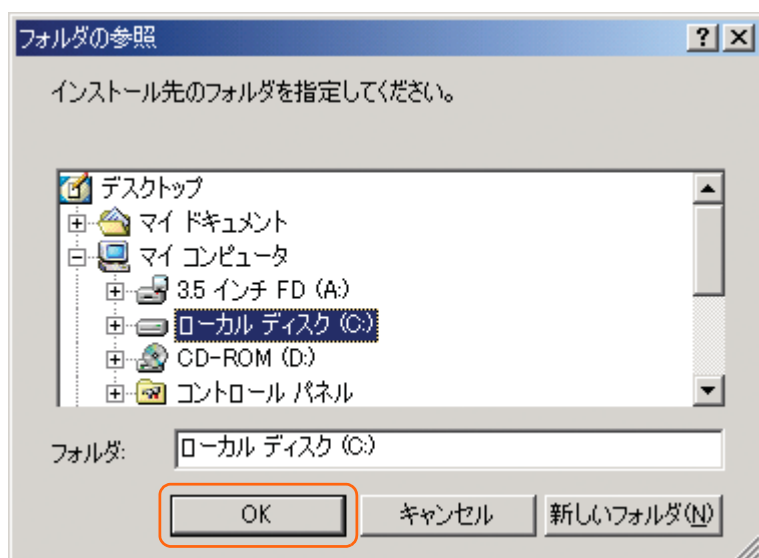
※インストール完了するまでURBANOをパソコンに接続しないでください。

1. URBANO CD-ROMよりUSBドライバ［インストール開始］ボタンをクリックすると、ファイルのダウンロード画面が立ち上がります。EXEファイルのダウンロード時は、警告メッセージが表示されますが、続行して、［保存］をクリックし、「urbano_driver.exe」をデスクトップなどに保存してください。

2. 「urbano_driver.exe」をダブルクリックし、デスクトップなどに解凍してください。

3. 解凍したフォルダ内の「urbano_driver.exe」をダブルクリックしてください。「使用許諾契約」画面が表示されます。使用許諾契約書の内容を確認してください。契約内容を読み、同意する場合は［同意する］をクリックしてください。

4. 「au URBANO USBドライバのインストール」画面が表示されます。

インストールフォルダ（デフォルト「C：¥Program Files¥SHARP¥au URBANO」）を変更する場合は［参照］をクリックしてください。フォルダを指定した後、［OK］をクリックしてください。

5. 「au URBANO USBドライバのインストール」画面で［インストール］をクリックしてください。
これから、ドライバのインストールを開始します。

6. 以下の画面が表示されましたら、[OK] をクリックします。

7. URBANOとパソコンをUSBケーブルで接続します。必ず手順6まで完了してから接続してください。
接続後、URBANOの画面に「USB接続モード」と表示されたら、「データ転送モード」を選択してください。
URBANOの設定でUSB設定を「外部メモリ転送モード」にされている場合は、インストールされませんので、事前に「データ転送モード」または「接続時に選択」に設定してください。

※ドライバのインストールが正常に行われていることをご確認ください。
（「インストール結果を確認する」13ページ）

※以降の画面はWindows2000パソコンのもので、機種により異なる場合があります。

※インストール完了するまでURBANOをパソコンに接続しないでください。

1. 解凍したフォルダ内の「urbano_driver.exe」をダブルクリックしてください。「使用許諾契約」画面が表示されます。使用許諾契約書の内容を確認してください。契約内容を読み、同意する場合は［同意する］をクリックしてください。

2. 「au URBANO USBドライバのインストール」画面が表示されます。

3. 「au URBANO USBドライバのインストール」画面で［インストール］をクリックしてください。
これから、ドライバのインストールを開始します。

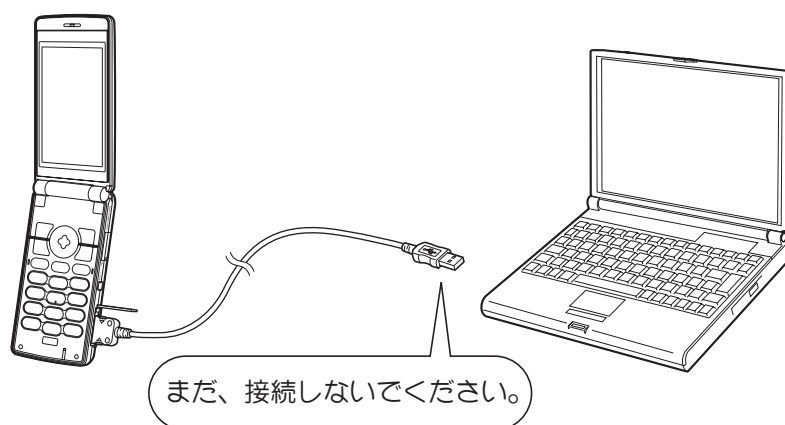
4. 以下の画面が表示されましたら、［OK］をクリックします。

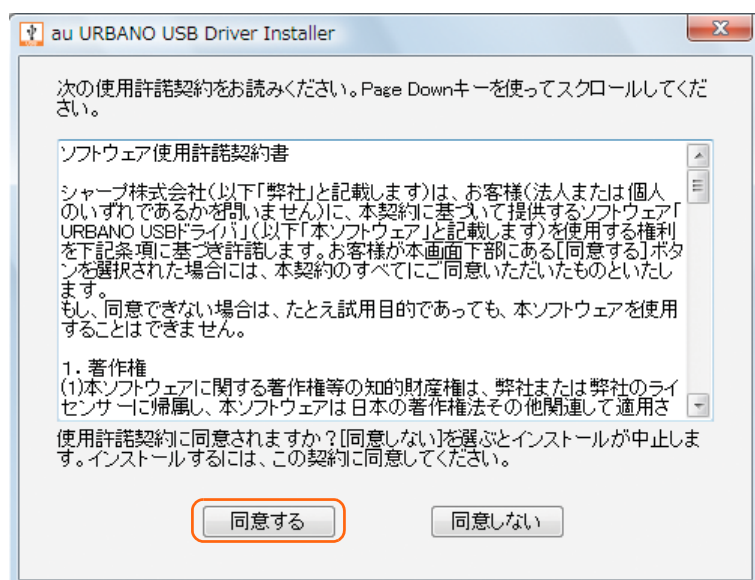
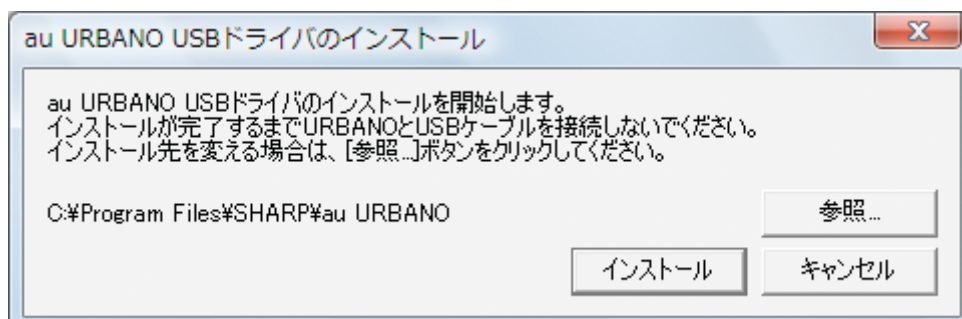
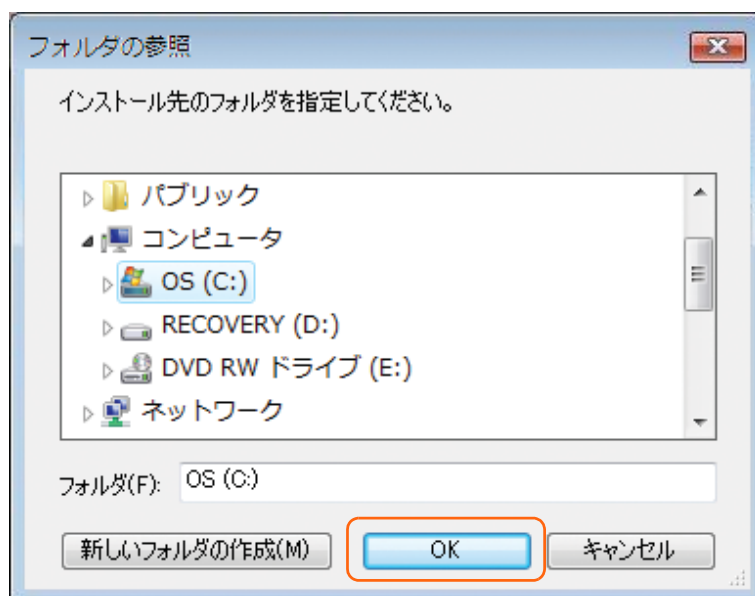
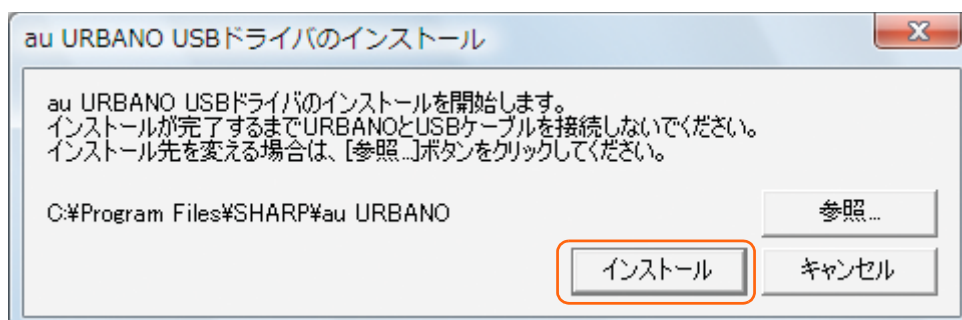
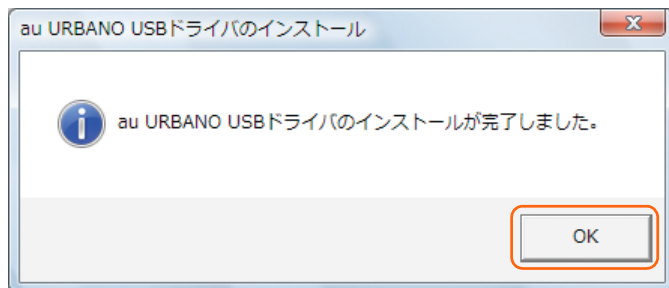
5. URBANOとパソコンをUSBケーブルで接続します。必ず手順４まで完了してから接続してください。
接続後、URBANOの画面に「USB接続モード」と表示されたら、「データ転送モード」を選択してください。
URBANOの設定でUSB設定を「外部メモリ転送モード」にされている場合は、インストールされませんので、
事前に「データ転送モード」または「接続時に選択」に設定してください。

※ドライバのインストールが正常に行われていることをご確認ください。
（「インストール結果を確認する」13ページ）

※以降の画面はWindows Vistaパソコンのもので、機種により異なる場合があります。

Windows Vistaの64ビット版では動作しません。お使いのWindows Vistaが32ビット版かどうかを確認するには、スタートメニューの［コンピュータ］上で右クリックし、［プロパティ］をクリックしてください。また、32ビット版でもすべての環境での動作を保証するものではありませんので、ご了承ください。

※インストール完了するまでURBANOをパソコンに接続しないでください。

1. 解凍したフォルダ内の「urbano_driver.exe」をダブルクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので［許可］をクリックしてください。

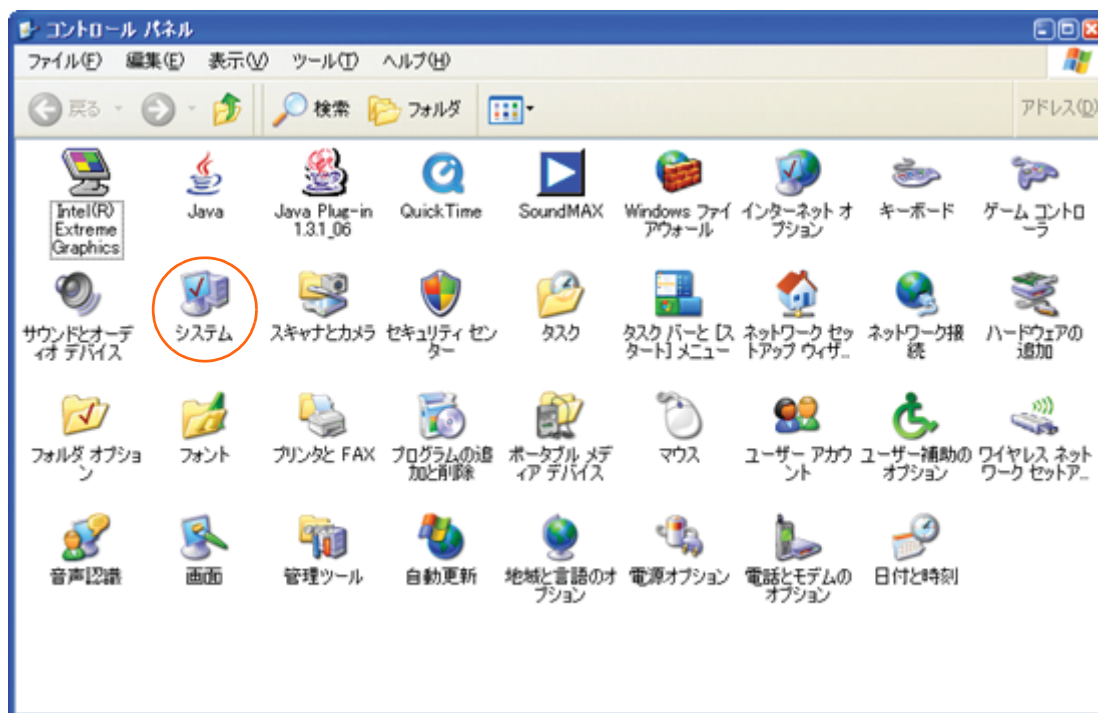
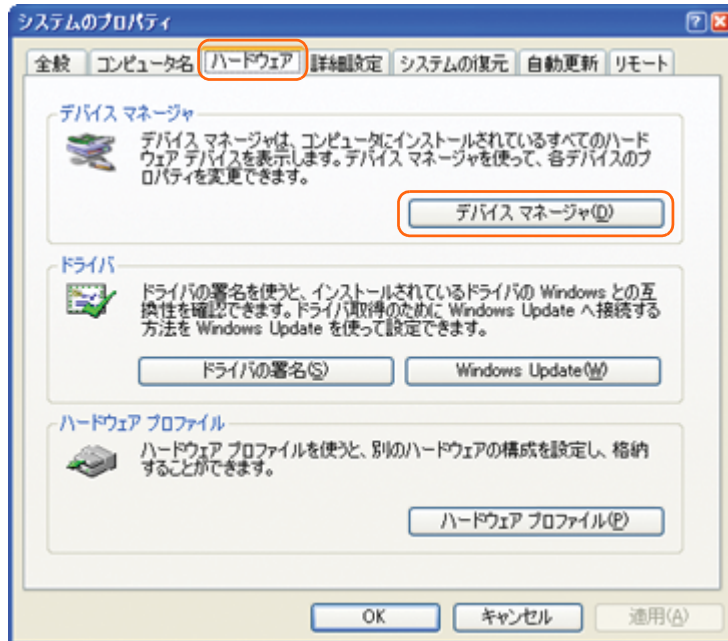
2. 「使用許諾契約」画面が表示されます。使用許諾契約書の内容を確認してください。契約内容を読み、同意する場合は［同意する］をクリックしてください。

3. 「au URBANO USBドライバのインストール」画面が表示されます。

インストールフォルダ（デフォルト「C：¥Program Files¥SHARP¥au URBANO」）を変更する場合は［参照］をクリックしてください。フォルダを指定した後、［OK］をクリックしてください。

4. 「au URBANO USBドライバのインストール」画面で［インストール］をクリックしてください。これから、ドライバのインストールを開始します。

5. 以下の画面が表示されましたら、[OK] をクリックします。

6. URBANOとパソコンをUSBケーブルで接続します。必ず手順5まで完了してから接続してください。
接続後、URBANOの画面に「USB接続モード」と表示されたら、「データ転送モード」を選択してください。
URBANOの設定でUSB設定を「外部メモリ転送モード」にされている場合は、インストールされませんので、
事前に「データ転送モード」または「接続時に選択」に設定してください。

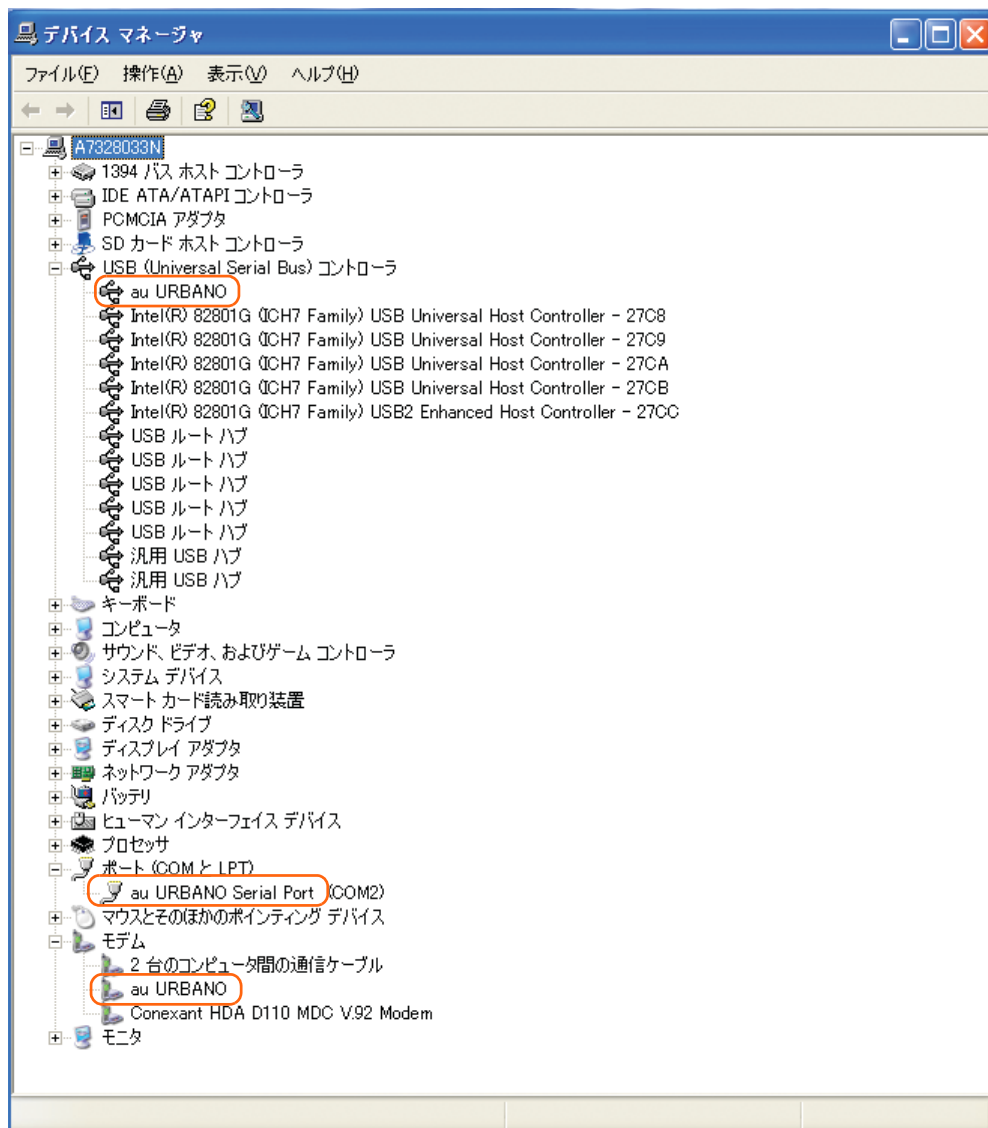
※ドライバのインストールが正常に行われていることをご確認ください。
（「インストール結果を確認する」13ページ）

■インストール結果を確認する

※以降の画面はWindowsXPパソコンのもので、機種により異なる場合があります。

※Windows2000、Windows Vistaについても、同様の操作でインストール結果を確認することができます。

1. コントロールパネルを開いてください。コントロールパネルの一覧から［システム］を選択し、ダブルクリックします。

2. ［ハードウェア］タブにある［デバイスマネージャ（D)］をクリックします。

3. インストール後、デバイスマネージャ上にて以下のように認識・表示されていれば、インストールは正常に行われています。

- [ポート（COMとLPT)] を展開して [au URBANO Serial Port] が表示される。
- [モデム] を展開して [au URBANO] が表示される。
- [USBコントローラ] を展開して [au URBANO] が表示される。

※本画面は一例であり、画面の詳細はパソコン環境によって異なります。

※URBANOとパソコンをUSBケーブルを用い、データ転送モードで接続した状態での画面です。

■USBドライバアンインストール／再インストールの手順

※以降の画面はWindowsXPパソコンのもので、機種により異なる場合があります。

※ドライバのアンインストールは、管理者権限でコンピュータにログオンしている必要があります。

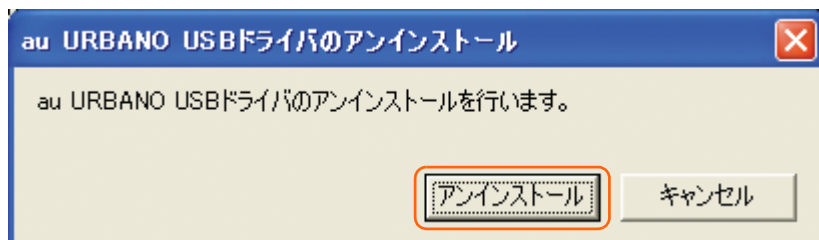
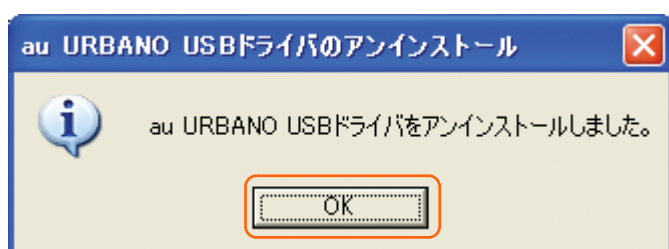
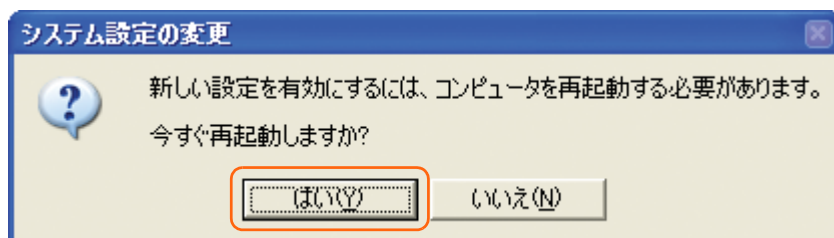
※Windows2000、Windows Vistaについても同様の操作でUSBドライバをアンインストールすることができます。

「USBドライバ」が正常にインストールできない場合や、「USBドライバ」ならびに「URBANO」が正常に認識されていない場合には、「USBドライバ」の再インストール（一度アンインストールしてからインストール）を行ってください。

ここから「USBドライバ」のアンインストール／再インストール手順を説明します。

- 「USB ドライバ」のアンインストール後にパソコンの再起動を行います。編集中のファイルや他のソフトウェアを開いていましたら、あらかじめデータを保存し、終了しておいてください。
- アンインストール後は、必ずOSの再起動を行ってください。（再起動を行わないと次回インストールができません）
- 「URBANO」から「USBケーブル」を外してください。

1. コントロールパネルを開いた一覧から［プログラムの追加と削除］をダブルクリックしてください。
［au URBANO Software］を選択し、［変更と削除］をクリックすることで、「USBドライバ」の削除が開始されます。

2. 以下の画面が表示されますので、［アンインストール］をクリックします。

3. 以下の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

4. 以下の画面が表示されますので、［はい（Y）］をクリックします。
パソコンの再起動の実行を促す画面が表示されます。起動している他のアプリケーションをすべて終了させ、「URBANO」から「USBケーブル」が外れていることを確認してから、［はい］をクリックしてください。パソコンが再起動されます。
※ここまででアンインストールは終わりです。

5. 再起動後、「USBドライバ」の再インストールを行う場合は、「USBドライバインストールの手順」（3ページ）をご確認ください。

■コマンドリファレンス

● ATコマンド

ATコマンドは「AT」に続いて「コマンド」と「パラーメータ」を入力し、最後にエンターキーを押すとコマンドが実行されます。パラメータ値を省略した場合は「OK」を返します。
なお、コマンドの入力は、大文字・小文字ともに可能です。

A/	再実行
書式	A/
解説	直前のATコマンドをもう一度実行します。

D	オリジネートモードへの移行
書式	ATD［ダイヤルナンバー］<CR>
解説	ダイヤル発信します。

Qn	リザルトコード設定
書式	ATQn<CR>
解説	リザルトコードをパソコンへ返すかどうか設定します。 n=0：リザルトコード送出あり（デフォルト） n=1：リザルトコード送出なし

En	コマンドエコー
書式	ATEn<CR>
解説	パソコンに対してコマンドキャラクタをエコーバックするかどうかを設定します。 n=0：コマンドエコーしない n=1：コマンドエコーする（デフォルト）

Z	ソフトウェアリセット
書式	ATZ<CR>
解説	工場出荷状態に初期化します。

&Dn	DTR制御
書式	AT&Dn<CR> ご注意：デフォルト値でご使用ください。
解説	DTR（データ端末レディ）信号の動作を制御します。 n=0：常にDTRを無視する。 n=1：オンライン状態でDTR信号がONからOFFになるとオンラインコマンド状態へ移行する。 n=2：オンライン状態でDTR信号がONからOFFになると回線を切断し、オフラインコマンド状態へ移行する（デフォルト）。

&Cn	DCD制御
書式	AT&Cn<CR> ご注意：デフォルト値でご使用ください。
解説	DCD（受信キャリア検出）信号の動作を制御します。DCD信号とは、相手からのキャリアを受信しているかどうかをパソコンへ知らせる信号です。 n=0：常にDCDをON n=1：パケット通信がアクティブのときのみON（デフォルト）

Vn	リザルトコード設定
書式	ATVn<CR>
解説	パソコンへのリザルトコードを数字（短い形式）で返すか文字（長い形式）で返すかを設定します。 n=0：数字 n=1：文字（デフォルト）

&F	default値（工場出荷時設定値）の呼出
書式	AT&F<CR>
解説	各種ATコマンドのパラメーター値をデフォルト値（工場出荷設定値）に戻します。

● **Sレジスタ**

レジスタ	内容	単位	値
S3	CRキャラクタコードの設定	－	13
S4	LFキャラクタコードの設定	－	10
S5	BSキャラクタコードの設定	－	8

● **リザルトコード一覧**

本製品がモデムとして動作する場合、パソコンなどからのATコマンドに応答し、リザルトコードの形でパソコンに信号を送り、回線での動作状態を通知します。
使用できるリザルトコードには2つの形式があります。文字形式で長く詳しい応答と、数字形式で短い応答です。文字形式のコードは<CR><LF>で始まり、<CR><LF>で終了します。数字形式には先行するシーケンスではなく<CR>で終了します。

数字	文字	説明
0	OK	コマンドライン実行確認のため、［OK］コードを送ります。
1	CONNECT	オンラインモード状態に遷移した場合、このリザルトコードを送ります。
3	NO CARRIER	オフラインモード状態に遷移した場合、このリザルトコードを送ります。
4	ERROR	コマンドライン構文エラー、実行不可能およびコマンドが存在しない場合、またパラメータ許可範囲内外の場合に、このリザルトコードを送ります。
29	DELAYED	通信が規制中の場合、このリザルトコードを送ります。